



イカスミは食べるだけでない！  
メラニンの医療応用に関する研究

技術分野分類 7805：天然資源系薬学

技術キーワード (8)：天然活性物質

産業分類 165：医薬品製造業

内 容	概要	メラニンはアミノ酸のチロシンを初期物質として酸化重合によって生合成されるポリマーで、分子量が一定でなく、あらゆる溶媒に難溶性である。我々は、メラニンを生化学的緩衝液に容易に溶解する条件を初めて発見し、さらに水溶液に可溶性メラニンを独自に合成した。この材料の医療応用を研究している。
	従来技術・ 競合技術 との比較 (優位性)	メラニンは皮膚においては紫外線による障害を防ぐ機能を持つことは良く知られている。自然界に広く分布し、イカ墨にも多量に含まれ、食しても安全な天然生体合成物質である。可溶性・可溶性メラニンは、アレルギー応答に重要な役割を担うマスト細胞の活性化を効果的に抑制することを初めて見出した。さらに、あらゆるがん細胞の増殖を抑制したが、細胞を死滅させることはなかった。
	本技術の 有用性	我々が作製した可溶性メラニンは安全性が高く、新規抗アレルギー剤や、副作用の少ない制（静）がん剤の開発が可能である。
関連情報 (図・表・写真等)		
適用可能製品	抗アレルギー剤やがん抑制剤などの医薬品	
技術 シース 保有者	氏名 所属・役職	川本 善之 生命健康科学部 生命医科学科 准教授
技術 シース 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	産官学連携推進課 0568-51-4852/0568-51-4859 kensien@office.chubu.ac.jp

■知的財産

■試作品状況 無 提示可 提供可

作成日 2019年 11月 11日